

## ACTIVESCALE™ P100

大規模な管理が容易、高耐久性、  
拡張性に富んだオブジェクト・ストレージ



## DATASHEET

## 主な特長と利点

### 配備が簡単

必要なものは電力とネットワーク接続のみ

### スケーリングが容易

データの増大に合わせてスケールアップまたはスケールアウトにより容量を増加

### 高いデータ耐久性

BitDynamics、BitSpread、バージョンング、高度なErasure Codingを使用してデータを保護

### システム可用性

地理的に分散したシステムによりレプリケーションを行わずにデータを保護

### TCOを削減

導入費用、TB当たりの電力費、運用費を削減

### 効率的な管理

ActiveScale SMおよびCMを通じてネームスペース全体を管理することで、効率的なペタバイト規模のストレージ管理を実現

## アプリケーション/環境

### メディアおよびエンターテインメント

- プロダクション・メディア・アーカイブ
- オンプレミスS3メディア・ターゲット

### 生命科学および医療

- ゲノム・データ・バンク
- 医療用画像

### バックアップとアーカイブ

- テープとの統合
- アクティブ・データ・リポジトリ

### 分析ストレージ階層

- データ・レイク・リポジトリ

### クラウド・サービス・プロバイダ

- Backup-as-a-Service(BaaS)
- Storage-as-a-Service(SaaS)

ActiveScale™ P100は、ビデオなどの非構造化データを最大27PB (Raw) までスケールアウトまたは地理的分散を可能にするモジュール型のオブジェクト・ストレージ・システムです。データの増加やストレージ管理ニーズにタイムリーに対応し、ビジネス目標を容易に達成できるようになります。長期保持と簡単に高速なデータの取り出しを必要とする大規模なデータを対象に、ActiveScale P100は投資を保護しオペレーションを容易にするための「Data Forever」アーキテクチャを促進することを目的として設計されています。

### インストールが簡単で使いやすい

大規模データ向けに、ActiveScale P100は、既存のS3アウェアなアプリケーションを容易に統合できるS3™準拠のオブジェクト・インターフェイスを提供します。リアルタイム・システム管理はActiveScale SMIにより提供されます。ActiveScale SMIは、単一のラックだけではなく、ネームスペース全体を管理します。また、履歴や予測機能を提供するActiveScale CMIによるクラウドベースの分析と組み合わせることで、大規模ストレージをより効率的かつ効果的に管理できるようになります。

### シンプルなスケラビリティ

ActiveScale P100はモジュール型のストレージ・ノード・アーキテクチャに基づいており、同アーキテクチャは最小容量1008TBのRawストレージから始まり、その後1008TBずつインクリメントすることにより最大3PB超までスケールアップが行えます。また、同システムは27PB (Raw) 超までのスケールアップや地理的分散が行えます。各システムは、最大8GB/秒のスループットを通じて高い生産性を提供します。さらに、再均等化を行わずにシステムを増強できるほか、動的データ配置によりフォークリフト式のアップグレードを回避できます。IT部門は、容量や性能を容易

に追加することで、絶えず増大するデータに対応し、容易に管理できるようになります。

### 卓越した可用性と耐久性

卓越したデータ可用性とデータ整合性は、ワールドクラスのクラウド・インフラストラクチャにとって不可欠です。ActiveScale P100を3サイト構成で配備し、データを地理的に分散することで、卓越した可用性を実現できます。データセンターの機能が完全に停止した場合でも、3サイト構成により、中断のない運用を実現する継続的なデータ可用性が提供されます。データの耐久性は、特許取得済みのBitDynamics™テクノロジーによりもたらされます。また、BitDynamics™は、バックグラウンドで実行される検証および保証機能により高度なデータ整合性を提供します。さらに、ランサムウェア攻撃に対して、オブジェクト・バージョンングは、影響を最小化するためにデータを迅速に回復する機能を提供します。

### 統合が容易

Quantum StorNext®アプライアンスと組み合わせることで、ActiveScale P100を高性能のワークフロー環境へと統合できます。同アプライアンスは、NAS接続タイプのストレージとして追加することで容易に統合が行えるほか、総合的なストレージ・インフラストラクチャの一部としても結合できます。これにより、スケーリング、コスト管理、コンテンツ保護、ワークフロー統合が、シームレスなインターフェイスを通じて行えるようになります。

	基本構成	スケールアップ・モジュール	標準(基本+2個のスケールアップ・モジュール)
<b>容量<sup>1</sup></b>			
設定容量(raw)	1008TB (1.008PB)	1008TB (1.008PB)	3020TB (3.02PB)
最大マルチパート・オブジェクト・サイズ	50TB		
<b>ソフトウェア</b>			
オペレーティングシステム・ソフトウェア	ActiveScale OS 5.x		
管理インターフェイス	リアルタイム・システム管理コンソール、CLI、RESTful API		
システム分析	ActiveScale CM(クラウドベースのストレージ分析サービス)		
セキュリティ	転送時のSSL/TLS ではデータ暗号化にAES-256を使用、保存時のデータ暗号化にはAES-256を使用		
データ保護	BitSpread: 高度なレートレスErasure Coding+動的データ配置		
SW/FWアップグレード	ローリング・ファームウェア・アップグレード		
<b>特性</b>			
性能	クライアントのスループット性能は最大で8GB/sec		
データ耐久性	最大99.9999999999999999% (9が17個)		
<b>接続</b>			
プロトコル	RESTful S3		
クライアント接続	60Gbps/base (6x10Gb/sec)		
<b>物理サイズ<sup>2</sup></b>			
ラック寸法	12RU	6RU	24RU
設定重量	274kg	191kg	656kg
<b>電力</b>			
消費電力 – 公称/最大(W)	1.85/2.03 KW	1.38/1.51 KW	4.61/5.08 KW
消費電力 – 公称/最大(KVA)	1.89/2.06 KVA	1.39/1.53 KVA	4.67/5.12 KVA
電力特性	208~240V、冗長およびインテリジェント電源付きの単相または三相交流		
<b>使用環境<sup>2</sup></b>			
冷却	冗長高性能ファン		
温度(動作時)	10~35°C、高度960mを超える場合300mごとに1°C下がる		
温度(非動作時)	-40~66°C、高度3,000を超える場合300mごとに1°C下がる		
湿度	8~90% (結露なし)		
コンプライアンス	FCC/IES-003、CE、VCCI、CISPR 22、CISPR 24、KN22、KN24、EN60950-1 2nd edition、UL60950-1 2nd edition		
BTU/時(公称/最大)	6.31/6.92 K BTU/h	4.70/5.15 K BTU/h	15.71/17.22 K BTU/h
二酸化炭素排出量	0.001トン	0.001トン	0.003トン

<sup>1</sup> ストレージ容量を表す場合、1MBは100万バイト、1GBは10億バイト、1TBは1,000GB (1兆バイト)、1PBは1,000TBに相当します。利用可能な容量は、オブジェクト・ストレージ方式やその他の要因により、Raw容量によって異なる場合があります。

<sup>2</sup> ラックは含まれていません。ラックとPDUは別途必要です。

当製品の販売に関するお問い合わせは取扱店までお願いします。

<http://www.quantum.com/jp/>

**Quantum**

日本クアンタムストレージ株式会社

TEL. 03-5786-0086

©2019 Quantum Corporation. All rights reserved. QuantumおよびQuantumロゴはクアンタム社の登録商標です。その他すべての名称またはロゴは、それぞれの所有者の商標または登録商標です。本カタログに記載の仕様については予告なく変更することがあります。